1　「お蚕様の生糸が紡ぐ総合的な学習の時間の実践」
～シルク灯籠完成までの道のりとその発展活動～

長野市立七二会小学校

蚕の繭の活用法を考え，広く地域に情報を発信することで，地域の養蚕への興味関心を高め，地域おこしの一助とする。」（ねらい2より）

2　シルク灯籠のおおまかな変遷

1つの灯籠に約繭12個　（生糸14km以上）

令和元年度

令和3年2月

令和5年度10月

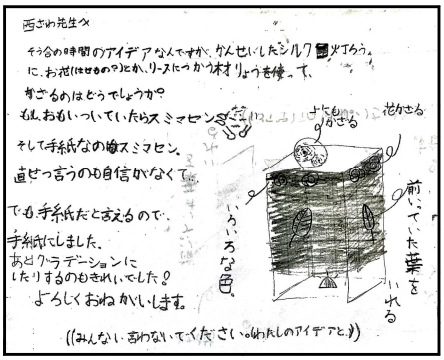
令和5年度2月(地域コラボ)

(1)シルク灯籠「作成マシーン」の試行錯誤

↓　問題続出のシルク灯籠

(2)木枠の活用と効率的な糸巻き作業への進化

→飾り付けをしたい


西さわ先生へ
そう合の時間のアイデアなんですが、かんせいしたシルク灯籠に、お花(はせるもの?)とかリースにつかう材りょうを使って、
飾ざるのはどうでしょうか?
もしおもいついていたらスミマセン。
そして手紙なのはスミマセン。
直せっ言うのも自信がなくて。
でも手紙だと支えるので、
手紙にしました。
あとグラデーションにしたりするのもきれいでした!
よろしくおねがいします。
((みんない、あわないでください。ぬれたしのアイデアと))
花かざる
よりもゆがざる
前いでいた葉をいれる
いろいろな色

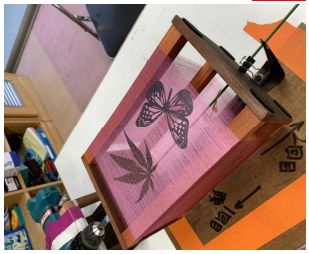
(3)シルク灯籠「本体枠」の改善

飾り編

→色をつけたい

繭を草木で染める実験

↓ブルーベリー染め成功



3　発展活動

公民館活動に指導者で参加

↓売り上げ１２万

1つ2000円で販売

善光寺灯明祭参加

いのちを紡ぐ～カイコと過ごした小学生の記録～【第48回日本ケーブルテレビ大賞】38分https://www.youtube.com/watch?v=FclStcK8zBc
蚕・七二会・ケーブルで検索でヒット